

平成 28 年 5 月 26 日

福祉政策課

市役所内線番号 2820

電話（ダイヤルイン）34-5196

奈良市認知症ケアパスの作成について

認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症の正しい知識や活用できる情報を、本人・家族はもちろんのこと、市民に広く普及・啓発します。

1. 目的（事業実施方針）

認知症の人ができる限り住み慣れた自宅で暮らし続け、また、認知症の人やその家族が安心できるよう、標準的な認知症ケアパスの作成と普及を推進します。

2. 開始時期 平成 28 年 6 月 1 日から配布します。

3. 使用 A4 サイズ カラー 16 ページ

4. 内容 「認知症かな？」「認知症とはどんな病気？」「認知症の相談先は？受診は？」「認知症と診断されたが、将来は？」と思ったとき、認知症の人やその家族を中心に地域生活をおくるため、生活の工夫や対応方法、利用できるサービス等を掲載

5. 対象 認知症を心配する本人・家族・市民

6. 配布場所

	部数（予定）
11 地域包括支援センター	2,000 部（合計 22,000 部）
認知症初期集中支援チーム	3,000 部
専任の認知症地域支援推進員	1,000 部
認知症の人と家族の会	2,000 部
福祉政策課	3,500 部

※印刷部数 35,000

7. 認知症ケアパスの作成の経緯

近年、認知症施策の推進において、他市町村でも随時認知症ケアパスが作成されております。

奈良市におきましても、認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）の7つの柱に沿って、「認知症高齢者等にやさしい地域づくり」を推進していくため、認知症施策に取り組んでいます。その一つの取り組みとして、「奈良市認知症ケアパス～知ってあんしん 認知症～」を作成しました。

このケアパスは、奈良市の各地域包括支援センターに配置されている認知症地域支援推進員や認知症初期集中支援チームのチーム員、市の認知症地域支援推進員が中心になり、「認知症の本人やその家族が必要としていることは何かを考え、その人たちを支援する冊子になれば」との願いを込めて編集しました。また、監修を奈良市認知症連携会議（医師会・歯科医師会・薬剤師会・認知症の人と家族の会・主任介護支援専門員協議会・訪問看護協会・認知症初期集中支援チーム・保健所医師）のみなさまにいただき、完成に至りました。

今後は、認知症ケアパスが機能するために、認知症に対応できる社会資源の整備や適切なケアマネジメントが実施されるための取り組みを専任の認知症地域支援推進員、各地域包括支援センターの認知症地域支援推進員、認知症初期集中支援チーム員らと共に進めてまいります。

8. 決算 介護保険特別会計 地域支援事業費

小事業 認知症ケアパス事業経費

節 印刷製本費 556 千円

細節 ポスター・パンフレット等印刷費